【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公開番号】特開2011-151790(P2011-151790A)
【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-031
【出願番号】特願2010-273506(P2010-273506)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　C
Ｈ０４Ｎ　5/225　F

【手続補正書】
【提出日】平成25年11月11日(2013.11.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
システムであって、
ジンバルアセンブリと、
ジンバルアセンブリに備えられ、データを収集するためのセンサであって、ジンバルアセンブリにより照準が制御されるセンサであって、当該ジンバルアセンブリが、データ収集のための当該センサに対する可動域を有するものと、
ジンバルアセンブリに備えられ、センサによって収集されたデータを含む少なくとも１つの方向性電磁信号を送信するように構成される通信モジュールと、
少なくとも１つの方向性電磁信号を受信するよう位置する、少なくとも１つのトランスデューサと、
センサが前記データを収集するために、ジンバルアセンブリの可動域で、前記少なくとも１つの方向性電磁信号を、前記少なくとも１つのトランスデューサ上に集束する、少なくとも１つの集束（focusing）素子と、
を備えることを特徴とするシステム。
【請求項２】
請求項１記載のシステムにおいて、ジンバルアセンブリは第１の方向にセンサの照準を合わせるよう制御可能であり、通信モジュールは第１の方向とは反対方向である第２の方向に方向性電磁信号を送信するよう構成されていることを特徴とするシステム。
【請求項３】
ジンバルを作動させるための方法であって、
ジンバルアセンブリの可動域で、ジンバルアセンブリによって、当該ジンバルアセンブリに配置されたセンサに照準を合わせるステップと、
前記センサによってデータを収集するステップと、
収集されたデータを含む少なくとも１つの方向性電磁信号を、当該少なくとも１つの方向性電磁信号を受信するように配置された少なくとも１つのトランスデューサに送信するステップと、
センサが前記データを収集するために、前記ジンバルアセンブリの可動域で、少なくとも１つのレンズによって、前記少なくとも１つの方向性電磁信号を、前記少なくとも１つ

のトランスデューサ上に集束させるステップと、
を含む方法。